



自衛隊埼玉地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCES SAITAMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

任期制隊員ライフプラン集合訓練を実施

自衛隊埼玉地方協力本部（本部長 山下真司一等空佐）は、十一月五日（木）と六日（金）の二日間、埼玉地域援護センター（大宮駐屯地）で令和二年度第二回任期制隊員ライフプラン集合訓練を実施した。

この訓練は、入隊後一年を経過した任期制隊員に対して、ライフプランの重要性と自衛隊が行う就職援護施策を教育し、それぞれの隊員の人生計画を確立させることを目的に実施しているもので、今回は大宮駐屯地所在部隊から主に昨年八月に入隊した任期制隊員二十一名が参加した。

初日の五日は、ライフプランの目的と意義について教育した後、任期制隊員の人事制度と自衛隊の援護組織の概要を理解させた。昼食を挟んで午後からは、退職予定隊員に対して実施される、部内外の様々な技能訓練の内容を具体的に例示した他、予備自衛官等制度についても説明し、退職後の予備自衛官への志願促進を図った。

翌六日は、上級部隊から派遣された人材育成支援会社の講師がライフプランの作成要領を説明した後、参加者それぞれに自身のライフプランを実際に作成させ、人生設計の早期確立とキャリアアップの一助とした。

参加した隊員からは、自分自身の人生設計に大変参考になり有意義な訓練だったとの声が多数聞かれた。埼玉地本では、任期制隊員に対する就職援護施策を更に充実させることで、優秀な人材確保に繋がるとともに、退職予定隊員の生活基盤の安定を通じて、防衛力を支える人的基盤の強化に努めていきます。



立川駐屯地UH-1J体験搭乗

埼玉地方協力本部（本部長 山下一空佐）は、令和2年11月4日（土）立川駐屯地において募集対象者等70名に対して、体験搭乗を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策として、搭乗座席を制限することによりソーシャルディスタンスを確保、搭乗ごとに座席の消毒を行う等、「新しい生活様式」に則った実施となった。

搭乗前に東部方面航空隊による安全教育を行い、その後、機体をバックに記念写真撮影の時間が設けられた。その際、埼玉地本のマスコットキャラクター「サイボンりく」がサブライズで登場、参加者の人気を集めた。また、パイロットに興味をもった学生が、搭乗員と熱心に会話をする姿も見られ、穏やかな雰囲気にもまれた。機体見学では、薄い外板構造による軽量化された機体に驚きの声が上がった。

また、体験搭乗では、秋晴れの天候の下、「紅葉が空から楽しめた」「空から見下ろす町並み、目前に広がる富士山とスカイツリーに感動した」「とても興奮する経験ができた」など絶賛の声が寄せられた。

なお、本体験搭乗では、11月5日に埼玉地本が実施した南極観測活動の部外広報をきっかけとして川口市立神根中学校の教師七名の参加を得ることができ、新たな学校関係者との関係構築にも成果を上げた。

埼玉地本では、今後も自衛隊の存在が身近に感じる広報に重点を置き、募集向上に努めていくとしている。

